

# Tokyo Tobihino Rotary Club

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ 東京飛火野ロータリークラブ



RI会長  
イアン H.S. ティーグラー

会長テーマ

親睦と友愛を礎として、  
この日野の地域社会に奉仕・貢献して行こう

2017▶18 Weekly Report vol.30-16



会長 小高 俊明



幹事 栗山 博

ロータリー：  
変化をもたらす

## 2017年 11月9日(木) 第1370回 多摩南グループPM 於:京王プラザホテル八王子

### ■第1部 式典

■司 会 多摩南グループ幹事 青木訓行

■国歌斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 荻島孝之

■開会挨拶 多摩南グループガバナー補佐 松本啓祐

錦秋の秋、ようこそいらっしゃいました。260名登録でしたが、324名参加頂きました。今回座席は実行委員会の図らいで、クジ引きで決めました。準備に当り事務局の存在も大きかったです。八王子での開催なので、八王子にまつわる人物を紹介します。肥沼信次医師についてお話しします。ドイツで献身的な医療活動をされた医師です。第2次大戦後、最悪の衛生環境から伝染病が蔓延し、貧困と不衛生から、チフスが流行し、毎日バタバタと多くの人が死んでいった。そんな東ドイツのヴリーツェンという町で、発疹チフスの治療の為、献身的な医療活動をした日本人医師です。伝染病医療センターが開設され、肥沼が所長に任命されるも、医師は戦場に出向き、医師は肥沼一人、赤十字から派遣された助手1人、看護婦7人、調理師3人で対応した。その後、チフスで看護婦5人が亡くなる。センターはベッド数も少なく、薬も手に入らない中で、ドイツ人の為黙々と治療をした、薬を求めてベルリンに、食料を買いにバルト海沿岸まで奔走、看護婦が汚い、臭いと後込みする中で、流行の現場に出向き治

療に当り、多くのドイツ人の命を救った。無防備だったことから、治療にあたって半年後チフスに感染した、感染後も自室から看護婦たちに治療の指示をだし、羅ったことを知らせず、治療薬や注射を自身で使うことを拒み、「クスリは他の人に使ってくれ」と看護婦を励まし、1946年3月8日になくなる。冷戦の東ドイツ時代は秘密警察の問題もあり、肥沼を公に賞賛することはなかったが、その墓は病院関係者や市民によって大切に守られ、1994年7月にヴリーツェン市市議会は名誉市民に選んだ。市の正面玄関の壁には、彼の業績を讃える「記念銘板」が飾られた。八王子市民の誇りです。第2部ではパストガバナーを迎え「本音のロータローリー」を語っていただきます。

■来賓紹介 多摩南グループガバナー補佐 松本啓祐

■参加クラブ紹介 多摩南グループガバナー補佐

松本啓祐

各クラブ会員が立ち上がり「ハイ」と大きな声で会場から、存在をアピールしました。

■歓迎挨拶 東京八王子ロータリークラブ会長 堀 博昭

八王子へようこそ、今晚は大分冷え込む様です。皆様風等引かないよう健康に留意ください。第一部の後ディスカッションがあり、第3部懇親会では、フラメンコ、八王子芸者衆の踊りがあります。ゆっくりお楽しみください。



■来賓挨拶 2750地区がバナー 猿渡昌盛様

2750地区のガバナー猿渡です。私は府中ロータリークラブです。多摩南グループのIMが盛大に開催される事、心よりお慶び申し上げます。地域により、地方では地区大会がこのぐらいの人数になります。この後のディスカッション先輩の話が楽しみです。2人は対談、3人は鼎談、話しが白熱することを期待します。疑問・質問をしてほしいとのこと。先輩の議論をお聞きます。

■第2部“本音のロータリー” コーディネーター

多摩南グループガバナー補佐 松本啓祐

松本ガバナー補佐より、本日は多摩地区を代表するロータリアン3人を迎えて、本音のロータリーを語って頂きます。坂本パストガバナーは2007-08年度2014-15年度の2期、新藤パストガバナーは2008-09年度 水野パストガバナーは2015-16年度に就かれています。ロータリーの方向性、会員増強についてお考えをお聞きしたいと思います。今、ロータリーは社会奉仕団体に向かっています。これらについてのお考えをお聞かせいただければと思います、と、ディスカッションの目的を提起し、3人に逐次意見を求めました。先ず、新藤氏は「1990年代後半から世界の会員数が横ばいである。RIがCLP,戦略計画と新たな方策を打ち出した、」坂本氏は「ロータリーは基本がクラブ」水野氏は「正しい方向に向かっているかはクラブ、ロータリアンが考えること」と発言されて、討論が始り、御三方から、御自身の考え方が丁寧に語られました。内

容についてはいずれ、ガバナー月信、議事録等で見ることが出来ますので省略します。

■懇親会 司会 IM実行副委員長 番場 弘文

司会挨拶の後、服部陽子ガバナーエレクトの「意義深いIMで本音のロータリーのデスクッションも良い刺激を受けました」の挨拶の後、「乾杯」音頭に唱和し始った懇親会は、毎回のように見られる、クラブを超え旧交をあたためる会員、隣席のクラブ会員との打ち解けた談笑風景、などが随所で見られ、写真を撮り合ったり、名刺交換など親睦を深める会員がたくさんおられました。宴が進むと、フラメンコのショーが始り、刺激的なリズムに合わせて民族衣装を身に付け舞うダンサーに見入りました。続けて八王子芸子衆の踊りが始り華やいた空気が会場に漂いました。そして惜しまれる中、IM実行委員長 小坂さんの挨拶で閉会、全員輪になり「手に手つないで」を合唱し再会を約して散会した。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1370回	26	26	0	-	0	100%
第1368回	26	20	3	0	3	88.46%

★トピックス

- 1.11月5日 国際調査情報ジャーナリスト連合と加盟報道機関によって、「パラダイス文書」公表される。タックス・ヘイブン取り引きに関する膨大な電子文書群である。タックス・ヘイブン（租税回避地） 税逃れへの関心高まる。
- 2.11月7日 プロ野球日本ハム 大谷翔平選手 メジャー宣言（11日正式表明）
- 3.11月10日 文部省「加計学園」の獣医学部新設を認可するよう林文科相に答申。

